



ソフトボール教室で 交流

国士舘大学の男子ソフトボール部がソフトボール教室を開き、大崎ソフトボールスポーツ少年団と交流しました。

同ソフトボール部は部員が教員免許を取得していることから各地域でソフトボール教室を開催しています。3月9日から1週間大丸運動公園において合宿を実施しており、3月14日(火)、同少年団と交流しました。

少年団は、キャッチボールやバッティングなど基本的なことからピッチャーの投げ方など、大学生のアドバイスを熱心に聞き、実践していました。



米寿の記念に 町へご寄付いただきました

横瀬在住の米永實さん、桂子さんご夫婦から、町にご寄付いただきました。

米永さんは「私たち夫婦ともに米寿の人生を迎えることができました。記念にと思い心ばかりですが町政に活用いただければ幸いです」と東町長に手渡しました。

町政に活用させていただきます。ご寄付に感謝いたします。



ふるさと先生から 地元の良さを教えてもらいました

3月16日(木)、持留小学校において、同校出身者が講師となり幼い頃の地元での思い出や仕事について語る「ふるさと先生」がおこなわれました。今回は、教師や校長を経て15年間出水市の教育長を務めた溝口省三さんが講師となり、持留で過ごした学生時代の思い出話や教員・教育長時代に取り組んだことなどを話され、同校の全児童や講師の同級生、地域の方が熱心に話を聞いていました。5年(3月現在)の柳原龍^{たつおみ}臣さんは「先生の話の中で一番心に残った言葉は『今に見ている、ぼくだって!』という言葉です。4月から6年生になるので溝口さんの教えてくださったことを心に頑張っていきたいです」とお礼の言葉を述べました。